

関係各位

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
会 長 山 東 昭 子

平成 29 年度 協会事業のご案内

新年度を迎え、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の事業実施につきましてご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 29 年度の各種事業を下記のごとく実施いたします。どうかご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、それぞれの実施要項につきましては、確実に各関係担当者に配付いただきますよう、ご配慮のほどお願い申し上げます。 *ご面倒をおかけしますが、各実施要項は各部、各担当者あて分は、コピーして配付いただけますようお願い申し上げます。

記

	ページ
● 平成 29 年度読字力検定試験	…… 2.3.4.5
● 第 13 回全国聾学校作文コンクール	…… 6.7.8
● 第 22 回全国聾学校絵画展	…… 9.10.11.12
● 第 29 回全国聾学校合奏コンクール	…… 13.14.15
● 「40 回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」の開催	…… 16.17
● 公益財団法人 J K A 競輪公益資金の補助事業	
① FM 補聴システムの無償貸与	…… 18.19
② 移動母子教室の開設 (今年度は実施せず)	…… 20.21
● 聴覚障害者の法律相談	…… 22
● 協会図書のご案内	…… 23
● ハマナス募金 (寄付金)	…… 24
● 個人情報の取扱いについて	…… 25

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会事務局

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5F

TEL 03-6907-2537 FAX 03-6907-2915

Eメール wasedanomori@amethyst.broba.cc

ホームページ <http://www13.plala.or.jp/wasedanomori/>

学 校 長 殿
読字力検定担当者殿

読字力検定試験実施要項

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会

- この検定試験は、読書力養成の一助として、読字能力を高めることを目指して実施するもので、常用漢字に正確な読み仮名がつけられる読字力を調査するものである。
- この検定試験を受けるには、年度当初に、別紙「読字力検定試験登録書」により各学校・団体ごとに登録手続きをする。*今年度より、登録料は廃止いたします。
 - 登録に際しては、別紙、読字力検定試験受検予定者名簿を添付する。氏名の記入については学校使用のゴム印をご使用下さい。*手書きの場合、判読できるように丁寧に記入ください。
- この検定試験は、年3回（6月、10月、2月）実施する。
 - 検定試験問題は実施月の前月に、登録済みの学校・団体に送付する。その際に検定料振込用紙も送付する。送付された試験問題（全級分1部・B4サイズ）を受検者の人数分コピーして実施する。なおコピーはなるべく両面印刷するなど省エネにご協力ください。
 - 検定試験の実施後は、試験答案と読字力検定試験評定票を学校・団体ごとに取りまとめて協会へ送付する。
 - 検定料 300 円（個人が複数の級を受検する場合、受検する級の数分の検定料）
 - 検定試験の答案は返却しない。
- この検定試験における審査と評定については、協会が別に定める「読字力検定委員会」において行う。同じ級での合格が2回に達したのものには、その級の『合格証書』を交付する。
*2回目合格は連続でなくてもよく、また、年度をまたいでよい。
- この検定試験はとりまとめは、協会に登録した「読字力検定担当者」が行う。
- この検定試験の出題範囲は、原則として小学校、中学校の各学年、特一級については高等学校国語教科書における漢字配当を目安として決める。
- この検定試験は9級から特1級までの級別により実施するが、受検者の年齢学年については一切制限しない。級別の程度は、おおむね下記の通りである。

級	9	8	7	6	5	4	3	2	1	特1
程度	小1 終了	小2 終了	小3 終了	小4 終了	小5 終了	小6 終了	中1 終了	中2 終了	中3 終了	高校 程度

※ 何級からでも受検できます。また、複数受検も可能です。

8. この検定試験の評価は、下記の通りである。

級	9 級	8 級	7 級～特1 級
最高得点 問題点数	100 点 50 問, 1 問 2 点	105 点 70 問, 1 問 1.5 点	100 点 100 問, 1 問 1 点
合格点	80 点以上 (40 問以上)	84 点以上 (56 問以上)	80 点以上 (80 問以上)
試験時間	40 分	50 分	50 分

9. 検定料の納入は、銀行振込または郵便振込で行う。(手数料は振込者の負担)

郵便振替 00110-9-134877

チヨウカクシヨウガイシヤキョウイクフクシキョウカイ

加入者名義 聴覚障害者教育福祉協会

銀行口座 みずほ銀行江戸川橋支店 普通 1615748

コウエキザイダンホウジンチヨウカクシヨウガイシヤキョウイクフクシキョウカイ カイチョウ サントウアキコ

加入者名義 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会 会長 山東昭子

10. 申込先：〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5F
 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
 TEL 03-6907-2537 FAX 03-6907-2915

11. 登録書提出期限 平成29年5月19日(金)

読字力検定試験登録書

平成 年 月 日

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会

会 長 山 東 昭 子 殿

学校名・機関名

校長名・代表者名

公印

所在地 〒

TEL/FAX

なお、読字力検定担当者は、下記の者とします。

読字力検定担当者氏名

学部	ふりがな	
	氏 名	
TEL/FAX		

平成29年度 読字力検定試験受験予定者名簿

校名 []

* 受験予定者名簿なので、試験実施時の取り消し、追加等があっても結構です。

No.	学部	学年	氏名	No.	学部	学年	氏名	
				計	小	名	合計	名
					中	名		
					高	名		

注1：学部学年順に記載し、氏名は学校使用のゴム印をご使用ください。

注2：用紙が不足した場合は、コピーしてください。

第 13 回 全国聾学校作文コンクール実施要項

第 13 回 全国聾学校作文コンクールを本実施要項により実施いたします。つきましては、貴校の児童・生徒に対しまして、作品応募のご奨励をいただきますようお願い申し上げます。*今年度の応募枠は小学部4、中学部3、高等部3とします。また、日記部門として小学部低学年(1年～3年)については「日記」または「絵日記」による応募枠を1つ(1作品)増設することにいたします。説明をよくお読みいただきまして、ふるって応募していただきたくご案内いたします。

1 趣 旨

聴覚障害児童生徒にとって、ことばを身につけコミュニケーション能力を高めることは、障害に起因する困難を軽減し、将来の自立及び社会参加を果たす上で極めて重要です。とりわけ書く力や思考力を育てることは、言語力や抽象的な思考力が育ちにくい障害の特性を補う上で大きく重要な課題です。このことに鑑み、作文力を育てるとともに、自信や広い視野を身につけさせることも意図して実施するものです。

あわせて応募の過程で、できる限りITを活用することにより、情報化時代に即応したIT活用の態度・能力を身につけ、将来の社会自立、参加に備えることも意図するものです。また、優秀作品の発表や入選作品集の刊行を通して、一般の啓発にも資することを意図するものです。

- 2 主 催 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会・全国聾学校長会
- 3 後 援 文部科学省 東京都教育委員会 全国聾学校PTA連合会 全国聴覚障害者親の会連合会 (予定)
- 4 募集テーマ 自然や人とのつながりの中で、自分に焦点をあてたもの
- 5 応募資格 全国聾学校・聴覚特別支援学校小学部・中学部・高等部(専攻科含む)在籍児童・生徒
- 6 作文の題および内容 ~ 作品を応募されるみなさんへ ~

作品の題は自由です。人は日常生活の中で、自然や周りの人や生き物などとかかわって生きています。

そのかわりの中で気がついたことや考えたこと、思いや願いなど、あなたの心に響いたことを自由に書いてください。

聾学校・聴覚特別支援学校で学ぶみなさんが、どんなことに興味や関心を持ち、どんなことを考え、生活しているかを教えてほしいのです。あなたにしか書けない出来事を、あなただから書ける考えを、あなた自身の言葉で書き表してください。学部・学年にふさわしい作品が寄せられることを期待しています。

- 7 応募先 〒190-0003 東京都立川市栄町1-15-7 東京都立立川ろう学校

全国聾学校作文コンクール審査事務局 長塚 修一 電話 042-523-1356 FAX 042-523-6421

メールアドレス Shuichi_Nagatsuka@education.metro.tokyo.jp

● 応募作品の形式と送付方法について

(1) 全国聾学校長会事務局より実施要項がメールで配信されます。併せて原稿用紙ファイル（ワード形式）及び応募用紙ファイルがメールで配信されます。原稿用紙ファイルは、ワード2007で保存してください。
また、実施要項、応募用紙、原稿用紙は事務局校(都立立川ろう学校)のホームページからもダウンロードできますので、ご活用ください。

(2) 原稿用紙ファイル（ワード形式）には、次の要領で記入してください。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ① 文字の大きさは10.5ポイントとする。 | ② 1作品ごとにファイルを作成する。 |
| ③ 1行目に題名。上を3マスあける。 | ④ 2行目に学部・学年・氏名を記入する。 |
| ⑤ 3行目はあける。 | ⑥ 4行目から本文を記入する。文頭は1マスあける。 |

(3) ファイル名は、分類上、次の要領で記入してください。

例

1	2	3	4	0	1	題名
---	---	---	---	---	---	----

3行目 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 作文は題名を記入。日記は日記または絵日記と記入。

学部 学年 学校番号 本校0 学部別作品番号（小・日記を含む1～5、中・高1～3）

（小学部は1、中学部は2、高等部は3）（分校は1～3）

以上のように6桁の数字と題名をファイル名とする。数字は半角で記入する。

学校番号は、応募用紙ファイルを参照してください。

(4) 作品は一編ずつ添付ファイルにしてメールで送信してください。ファイルを圧縮したり、パスワードをかけたりしないでください。メール以外での作品の応募は不可とします。

(5) 応募用紙ファイルは学校単位で記入し、今年度からメールで送付してください。児童生徒の名前の活字が無いなどによりファイルでの送付が難しい場合は、FAXで送付するか、事務局にご連絡ください。

(6) 原稿用紙ファイル（作品は一編ずつ）及び応募用紙ファイル（学校単位一枚）は、添付ファイルにしてメールで同時に送ってください。到着後、事務局からメールで受領のお知らせを送ります。

(7) 締切日を厳守してください。

- **制限字数** 小学部部門は 1,200字以内 中学部部門は 1,600字以内
 高等部部門は 2,000字以内

● 応募数の制限

各校からの応募数に制限を設けています。各校とも、小学部低学年（1年～3年）の日記部門1作品、小学部4作品、中学部3作品、高等部3作品、1つの学校が3つの学部で応募する場合は11作品までとなります。

- **応募期間** 平成29年7月24日（月）～7月28日（金）（厳守）

● その他

- (1) 応募作品は返却しません。
- (2) 他のコンクール等との二重応募は不可とします。
- (3) 作品の指導にあたっては、「全国聾学校作文コンクール入選作品集」ならびに「聴覚障害教育における作文指導のために」(～全国聾学校作文コンクール応募作品の分析から～)を参考にしてください。
- (4) 小学部低学年(1年～3年)児童の日記部門の応募のうちで、「絵日記」については絵と文章と一緒に審査事務局に郵送するか、または絵をPDF化して文章に添付してメールで審査事務局に送信して下さい。

● 作品の選定

- ・ 第一次審査で39点選定します。(各学部13点) 「日記」または「絵日記」として応募のあった作品については、10点程度の入選作品を選びます。なお「絵日記」の場合、絵は評価の対象とはしません。
- ・ 第二次審査で 金賞3点 銀賞6点 銅賞6点 努力賞9点を選定します。「日記」または「絵日記」の枠から入選作品を10点程度選定します。

● 受賞者の発表

- ・ 入賞作品及び「日記」または「絵日記」の入選作品の選定結果は、10月末までに各学校へ公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会から文書で通知すると共に、受賞者については、当協会ホームページにて公表します。

● 表 彰

- (1) 金賞受賞者については、「第40回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」で表彰します。
文部科学大臣賞受賞者は、会場で作品発表を行います。
- (2) 入賞者にはそれぞれ表彰楯または賞状、副賞として図書カードを贈ります。

金 賞 楯及び図書カード (10,000円分)

表彰状 文部科学大臣賞、全国聾学校長会会長賞、公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会会長賞

銀 賞 表彰状及び図書カード (5,000円分)

銅 賞 表彰状及び図書カード (3,000円分)

努力賞 表彰状及び図書カード (2,000円分)

佳 作 表彰状

応募者全員に「入選作品集」を贈ります。

● 入賞作品の活用

「第13回作文コンクール入選作品集」を刊行し、全国聾学校に配布します。

参加作品についての分析研究調査を行い、指導資料を作成し配布します。

第 22 回 全国聾学校絵画展実施要項

平成 29 年度第 22 回全国聾学校絵画展を下記の通り実施いたしますので、ご参加くださいます
ようご案内申し上げます。

記

1 主 旨

聴覚障害児の絵画による表現力を高め、豊かな情操と創造力を培うために、全国の聾学校幼児・
児童・生徒の作品展を開催し、あわせて広く一般社会の理解と関心を深める。

2 主 催 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会

3 後 援 文部科学省 全国聾学校長会 全国聾学校 PTA 連合会 全国聴覚障害者親の会連合会(予定)

4 応募条件

- ・ 聾学校・聴覚特別支援学校に在籍する幼児・児童・生徒の絵画作品（版画を含む）で未発表のもの。
- ・ 画題は自由。表題は 10 文字以内。
- ・ 作品の大きさは四つ切、B3 画用紙(イラストボード可)程度。* 薄い画用紙は補強の裏紙を貼って下さい。
- ・ 作品は一人一点。作品裏面の右下に「応募票」を貼付して下さい。
- ・ 応募作品に①「応募申込書」、②「応募者一覧表」を添えて下さい。
- ・ 応募作品は筒状にせず平面状で梱包送付すること。梱包はダンボール箱等の丈夫なパッケージで送付して下さい。(包装紙・ビニール袋等のみの弱い梱包は不可)

5 応募作品受付期間

平成 29 年 7 月 10 日（月）～7 月 21 日（金）当協会事務局必着。

6 作品送付先 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5F

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会事務局宛

7 表 彰

最優秀賞 2 点（幼稚部・小学部部門 中学部・高等部部門 各 1 点）* 最優秀賞の内 1 点は文部科学大臣賞

優 秀 賞 10 点（幼稚部・小学部部門 中学部・高等部部門 各 5 点）

佳 作 50 点

入選作品 最優秀賞には表彰楯、文部科学大臣賞受賞者には表彰状、優秀賞・佳作には賞状を贈る。

なお、最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者の在籍校に本協会会長が赴き表彰する。

8 入賞作品の展示会

最優秀賞並びに優秀賞作品（12 点）は、平成 29 年 10 月 19 日（木）～20 日（金）に開催される第 51 回全日本聾教育研究大会(秋田大会)会場において展示する。

9 受賞者の発表 各校に聴覚障害者教育福祉協会から文書で通知すると共に、受賞者については当協会ホームページにて公表します。

10 作品返却

入賞作品は展示会終了後に返却します。他の作品は、審査会終了後(9 月)に返却します。
着払い宅配便で返送します。

応募申込書

都道府県名				番号	*事務局記入
学校名					
校長名	公印				
所在地	(〒 -)				
担当者名	(学部名)	TEL			
		FAX			
応募数	応募総数 点	学 部 別			
		幼稚部 点	小学部 点	中学部 点	高等部 (専) 点
備考欄					

☆お願い

※応募申込書と応募者一覧表は学校として、まとめて一緒にご提出ください。

※応募者一覧表(別紙)については、学部毎に用紙をかえて書いてください。

応募者一覧表

平成29年度 第22回 全国聾学校絵画展

- ・ 学部ごとに用紙を変えてください。審査目録として使用します。
- ・ 氏名は楷書ではっきり書いてください。賞状作成に使用します。

学校名		担当者名												
No.	学部・学年	ふりがな 氏名	画題 10字以内(句読点・字間、『?』 『!』 等も1字とします)											
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

平成 29 年度 第 22 回 全国聾学校絵画展

応募票

学校名													
フリガナ		学部	学年										
氏名													
画題	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>											整理番号 事務記入	
※画題は10字以内厳守 句読点・字間、『?』 『!』 等も1字とみなします	—												

※注 作品の裏面右下に添付すること。(応募票の不足分はコピーしてください)

キリトリ

平成 29 年度 第 22 回 全国聾学校絵画展

応募票

学校名													
フリガナ		学部	学年										
氏名													
画題	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>											整理番号 事務記入	
※画題は10字以内厳守 句読点・字間、『?』 『!』 等も1字とみなします	—												

※注 作品の裏面右下に添付すること。(応募票の不足分はコピーしてください)

第 29 回全国聾学校合奏コンクール実施要項

下記の通り第 29 回全国聾学校合奏コンクールを下記の通り実施いたしますので、奮ってご参加下さい。

記

- [趣 旨] 聾学校・聴覚障害特別支援学校における音楽教育、特に合奏指導を通して音楽教育の充実、向上を図ると共に、幼児・児童・生徒の豊かな情操を育てることを目的とする。
- [主 催] 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
- [後 援] 文部科学省・東京都教育委員会・全国聾学校長会・全国聾学校 P T A 連合会・全国聴覚障害者親の会連合会（予定）
- [審査委員] 委員長 田中 一嘉（昭和音楽大学講師・指揮者）
委 員 目黒 一則（国立音楽大学非常勤講師・打楽器奏者） 尾崎正峰（一橋大学大学院社会学研究科教授）
草間みどり（東京都立川ろう学校副校長） 櫻井 博（（公財）聴覚障害者教育福祉協会）

[参加方法]

- 1 参加申込 参加申込書を平成 29 年 9 月 1 日（金）までに事務局に送付してください。
- 2 参加方法 自由曲（1 曲）の録音録画資料（DVD-R）を平成 29 年 10 月 23 日（月）～27 日（金）に事務局に送付してください。
なお、DVD-R は必ずファイナライズすること。家庭用 DVD デッキで再生可能なものとする。ブルーレイディスクは受け付けません。
 - * ビデオ撮影の際、録音・録画とも不鮮明にならないようにご留意ください。
 - * DVD ラベルに、必ず学校名、学部、曲名を記載してください。
 - ① 自由曲（1 曲）の演奏時間は、5 分程度とします。
楽器の編成、人数、曲の選定などは、すべて自由とします。
 - ② 合奏のための編成は、学部、学年は問いません。楽器演奏者は当該学校に在籍する幼児・児童・生徒とします。ただし、教員が指揮をする場合は、その限りではありません。**教員が指揮をする場合、可能な限り指揮者も画面の中に入るように録画してください。**
 - ③ 参加費は無料。 ④ 送付された DVD 資料は、返却いたしません。

[審査・表彰]

第一次審査

- ・参加校すべての演奏について、送付された DVD 資料により審査し、第二次審査対象校を選定します。参加校すべてに講評と第一次審査結果を送付します。
- ・第二次審査対象校は、講評をもとに練習の上、再収録した DVD 資料を平成 29 年 12 月 22 日（金）までに事務局へ送付して下さい。

第二次審査

- ・第二次審査対象校すべての演奏について、DVD 資料により審査します。
- ・下記の受賞校を選定します。
金賞（文部科学大臣賞）1 校 銀賞 1 校 銅賞 1 校 努力賞若干校 審査員奨励賞若干校
- ・第二次審査対象校すべてに講評と第二次審査結果を送付します。
- ・第二次審査結果については、各校に文書で通知すると共に、受賞校については当協会ホームページにて公表します。

表 彰

- ・金賞（文部科学大臣賞）受賞校には協会会長が学校に赴き、表彰楯と表彰状を授与します。
- ・銀賞、銅賞、努力賞、審査員奨励賞受賞校には賞状を授与します。参加者全員に参加賞を授与します。

[申込先]

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5 F
公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

TEL 03-6907-2537 FAX 03-6907-2915 メール wasedanomor@amethyst.braba.cc

合奏コンクール参加申込書

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
 会長 山東 昭子 殿

学 校 名

校 長 名

公印

所在地 〒

TEL・FAX

「第29回全国聾学校合奏コンクール」に下記により参加を申込みます。

記

※ 複数参加する場合は、チームごとに書いてください。(コピーして下さい。)

演奏曲	曲 名			
	楽器編成			
担当者				
参加学部	幼稚部	小学部	中学部	高等部
参加者数	1年 ()名	1年 ()名	1年 ()名	1年 ()名
	2年 ()名	2年 ()名	2年 ()名	2年 ()名
	3年 ()名	3年 ()名	3年 ()名	3年 ()名
		4年 ()名		専1 ()名
		5年 ()名		専2 ()名
		6年 ()名		
小 計	名	名	名	名
合 計 名				

受付期間 平成29年8月28日(月)～9月1日(金)

第29回合奏コンクール 参加幼児・児童・生徒名

校名 []

	氏 名	学部・学年	演奏楽器
指揮者名			
演奏者 1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

第40回 聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会

開催要項

1 趣 旨

聴覚障害児をもつ家庭が抱えてきた困難は、私たちの想像を越えたものでしょうが、多くの親御様はあらゆる困難にも耐え、逞しく生き抜いてわが子を育てあげ、立派に社会自立を果たしてこられました。当協会では昭和53年11月特殊教育100年の記念事業として「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」を開始いたしました。お母さん方のご苦勞を心から労い、その逞しさをたたえ、励ましをしてまいりました。

この事業は、一般社会へも大きな反響をもたらすこともできました。

今年も多くのお母さん方をたたえ、社会啓発を図るため、この事業を実施いたします。

2 主 催 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

3 後 援 文部科学省 厚生労働省 東京都教育委員会 全国聾学校長会、
全国聾学校PTA連合会 全国聴覚障害者親の会連合会 (予定)

4 協 賛 株式会社日健総本社 他

5 日 時 平成29年12月11日(月) 午後1時開会 午後3時20分閉会
予備日 平成29年12月18日(月) 午後1時開会 午後3時20分閉会
平成30年 1月22日(月) 午後1時開会 午後3時20分閉会
平成30年 1月29日(月) 午後1時開会 午後3時20分閉会

6 会 場 憲政記念館 東京都千代田区永田町1-1-1

7 次 第 第1部 式典

会 長 挨 拶

来 賓 祝 辞

お母さんの表彰

桜内義雄賞授与

第13回全国聾学校作文コンクール金賞受賞者表彰

(文部科学大臣賞、全国聾学校長会会長賞、聴覚障害者教育福祉協会会長賞)

第2部 発表会

聾学校児童・生徒の舞台発表

お母さんの体験発表

作文コンクール審査委員長講評

第13回作文コンクール文部科学大臣賞受賞作品発表

桜内義雄賞受賞者の体験発表「母を語る」

ビデオ放映(合奏コンクール金賞作品、絵画展優秀作品の紹介)

8 参 加 者 被表彰者及びご家族、教育関係者、福祉関係者、行政関係者、一般参加者等
約500名予定

お母さんをたたえる会 推薦書

平成 29 年 月 日 *9月29日(金)までにご提出下さい。

推薦者氏名 ㊟

住 所 〒

TEL/FAX — —

被推薦者	ふりがな 氏 名		聴覚障害者 との続柄	
	住 所	〒	TEL/FAX	
	生年月日	年 月 日	平成29年4月 現在 歳	
聴覚障害者 *一名だけ	ふりがな 氏 名		続柄 (何男、何女等)	
	生年月日	年 月 日	身体障害者 手帳番号	
	住 所	〒	TEL/FAX	
	職業・勤務先			

推薦理由 *簡単で結構です。

【9月29日までに推薦してください】

㊟ 被推薦者の氏名は楷書で戸籍記載どおり(表彰楯に記名)書いてください。

F M補聴システムの無償貸し出しのお知らせ

木々の緑が美しく映えるこのごろ、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の事業推進に当たり、ご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、近年、新生児の聴覚スクリーニングが各地で実施され、早期に聴覚障害が発見され、乳幼児期からの聴覚活用が図られるようになってまいりました。こうした状況を踏まえ、当協会では公益財団法人 J K A の競輪公益資金の補助を受け、標記事業を今年度も引き続き実施いたします。

つきましては、本事業案内に基づき、貴職より保護者並びに関係の方々に周知いただきますようお願いいたします。

記

- 1 事業概要** ご家庭で、周りが騒がしかったり、お子様との距離が離れたりしていると、補聴器を装着していても十分な聞き取りができないことがあります。F M補聴システムは、マイクロホンから入るお母さんの声をF M電波に変え、すぐそばで話しているような大きさでお子様の補聴器へ届けることができるシステムです。周りの騒音や距離に影響されることなく、クリアな音声を補聴器で聞くことができます。この事業は乳幼児期から聴覚活用を図るために、希望者に無償で貸与する事業です。
- 2 貸与期間** 機器の貸与期間は、原則として3～5年間で無料です。
但し、梱包・送料（1セット2,000円）を負担していただきます。
- 3 申込み締切** 平成29年7月14日（金）厳守
機器の貸与は保護者個人になります。但し、貸与希望は代表者（校長もしくは施設長）が一括して申し込んでください。但し、配布予定数が限られておりますので、ご希望にお応えできない場合があります。
- 4 申込み方法** 同封の申込書に必要事項をご記入の上、当協会事務局宛にご送付下さい。貸与の可否、件数については8月末日までにお知らせ致します。
- 5 貸与決定後の手続き** 機器は、製造会社から直接学校（または施設）宛に送付されます。担当の先生から保護者にお渡し願います。機器受領後、借用書並びに梱包・送料を事務局宛にお送りいただきます。（決定後、用紙を送付いたします）
- 6 申込み先** 〒170 - 0005 東京都豊島区南大塚3 - 4 3 - 1 1
福祉財団ビル5F
公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
TEL 03 - 6 9 0 7 - 2 5 3 7
FAX 03 - 6 9 0 7 - 2 9 1 5
メールアドレス wasedanomori@amethyst.broba.cc

No. _____

申 込 書

FM 補聴システム () セットを申し込みます。

- ・ 申込み〆切 平成29年7月14日(金)
- ・ 貸与の可否 8月末日までにお知らせ致します。

平成 年 月 日

学校名・施設名 _____

校長名・代表者名 _____ 公印

所在地 〒 _____

TEL 番号 _____

FAX 番号 _____

メールアドレス _____

担当者氏名 _____

全国聾学校長・聴覚特別支援学校長 殿
同 PTA会長 殿
難聴児通園施設長 殿

＜お知らせ＞
移動母子教室事業は JKA 及び本協会の都合により
今年度は実施いたしません。ご了承ください。

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
会 長 山 東 昭 子

移動母子教室の開設

日頃より、当協会の事業につきましてご理解ご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。
さて、今年度も公益財団法人 JKA 競輪公益資金による補助事業として、下記の通り移動
母子教室を開設いたします。
開設を希望される機関は、別紙申込書によりお申込みください。

記

- 1 開設申込み 別紙申込書に必要事項を記入し、平成29年7月7日（金）までに当協会事務局宛
送付してください。（厳守）
教室の対象者は主として保護者です。内容は講話、相談等。
保護者対象、教職員対象として両方希望できますが、実施はどちらか一方となります。
希望する講話の内容は、できるだけ具体的に記入してください。
- 2 教室の開設数 全国5地区（予定）
- 3 派遣講師 希望される内容に合わせて、協会で講師を選定、委嘱します。
- 4 開設条件 教室参加者は、少なくとも50人以上となるように計画して下さい。
PTA、親の会、近隣の学校、難聴学級、関連施設等にも呼び掛けてください。
- 5 経 費 講師の旅費・宿泊費、謝金は、協会が負担します。
教室開設担当校・園に会場費を交付します。
手話通訳・情報保障については、開設地でご準備願います。
- 6 開設地の決定 平成29年7月21日（金）
- 7 申し込み先 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F
公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
TEL 03-6907-2537 FAX 03-6907-2915
メールアドレス wasedanomori@amethyst.proba.cc

＜お知らせ＞

移動母子教室事業は JKA 及び本協会の都合により
今年度は実施いたしません。ご了承ください。

平成 年 月 日

移動母子教室申込書

学校名・施設名

学校長名・施設長名

公印

1 所在地	〒 _____		
	Tel : _____ Fax : _____ Eメール _____		
2 担当者名			
3 開催希望日	第1希望	平成	年 月 日 ()
	第2希望	平成	年 月 日 ()
4 希望する講話内容 (具体的に)	保護者対象		
	教職員対象 (教職者の研修を希望される場合)		
5 移動母子教室参加予定人員	約		名

聴覚障害者のための法律相談のご案内

- 1 **相談内容** 教育、福祉、労働、結婚、財産関係等、聴覚障害者の生活全般に関わる法律相談
- 2 **対 象** 全国の聴覚に障害のある成人、その家族及び聴覚障害児の保護者、または指導関係者
- 3 **相談申込み方法** FAX、Eメール、または郵送による

申込みの宛先

FAX 03-6907-2915

TEL 03-6907-2537

Eメール wasedanomori@amethyst.broba.cc

郵便 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11

福祉財団ビル5F

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会

- 4 **相談日** 常時（但し、土日祝日を除く）
- 5 **相談費用** 原則として、初回法律相談は無料
- 6 **相談担当** 村田・若槻法律事務所
東京都千代田区麹町2-12 VORT半蔵門3階
弁護士 村田 雅夫 先生

協会図書のご案内

聴覚障害にかかわる、教育関係者、家族、福祉を学ぶ方々等、多くの皆様に読んでいただきたい聴覚障害者教育福祉協会の書籍です。

書名	著者名	価格 (税込)	書名	著者名	価格 (税込)
ママさんの問答教室	松村 雄斎 著	セット	平成25年度 入選作品集	聴覚福祉協会	セット 500
続ママさんの問答教室	田中 祐二 著	500	聴覚障害教育における作文指導のために		
ママさんの初心十講	佐野 文子 訳	500	平成26年度 入選作品集	聴覚福祉協会	セット 500
0歳からの家庭指導	金山 千代子 編	500	聴覚障害教育における作文指導のために		
聴覚活用の実践	田中美郷・廣田 栄子 著	500	平成27年度 入選作品集	聴覚福祉協会	セット 500
心とくらしの子育て	松木 澄憲 著	500	聴覚障害教育における作文指導のために		
子育てに生かす聴覚口話法	本田 賢二 他 著	500	平成28年度 入選作品集	聴覚福祉協会	セット 500
話し言葉から書き言葉へ	坂本 多朗 著	500	聴覚障害教育における作文指導のために		
ハマナスのうた 第7集	ハマナス編集委員会 編	500	聴覚障害児はこの漢字が読めない	聴覚福祉協会	1000
ハマナスのうた 第8集	ハマナス編集委員会 編	500	漢字練習のステップ⑨・⑧・⑦編	聴覚福祉協会	500
のびのびと聴いて話して読んで書く	坂本 多朗 著	500	漢字練習のステップ⑥・⑤・④編	聴覚福祉協会	500
話しことばの世界への出発	坂本 多朗 著	500	漢字練習のステップ③・②・①編	聴覚福祉協会	500
平成17年度 入選作品集	聴覚福祉協会	セット	はじめの一步 -聾学校の授業-	四日市 章 監修・聾教育実践研究会編	1500
聴覚障害教育における作文指導のために		500	幼稚部3年間の子どもの姿	筑波大附属聴特支援学校幼稚部編	1000
平成18年度 入選作品集	聴覚福祉協会	セット	幼稚部教育課程 平成23年	筑波大附属聴特支援学校幼稚部編	500
聴覚障害教育における作文指導のために		500	実践事例集 -幼稚部教育課程資料-	筑波大附属聴特支援学校幼稚部編	700
平成19年度 入選作品集	聴覚福祉協会	500	聴覚障害児の「発音・発語」学習	板橋 安人 著	2000
平成20年度 入選作品集	聴覚福祉協会	500	ことばを豊かに育てる100の事例	筑波大附属聴特支援学校小学部編	1500
平成21年度 入選作品集	聴覚福祉協会	セット	確かな力をつける教科指導を目指して	筑波大附属聴特支援学校小学部編	1000
聴覚障害教育における作文指導のために		500	教科指導と読み書き・ICT活用	筑波大附属聴特支援学校中学部編	1000
平成22年度 入選作品集	聴覚福祉協会	500	聴覚障害生徒の力を育むために	筑波大附属聴特支援学校高等部編	1000
平成23年度 入選作品集	聴覚福祉協会	500	社会で自立する力を育てる	筑波大附属聴特支援学校高等部 専攻編	1000
平成24年度 入選作品集	聴覚福祉協会	500	聾学校こどもたちの『私のこと』	坂本 多朗 著	1500

申込方法

- 協会ホームページより「書籍販売コーナー」ページの「書籍のお申し込み欄」より(1)FAX申込、(2)E-mail 申込で注文できます。
- 協会へ直接、FAXか E-mail にてお問い合わせいただければ、「書籍申込用紙」を返送しますので、それにてご注文下さい。
- お申込み方法の詳細につきましては、下記にお問い合わせください。

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会事務局

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5F

FAX 03-6907-2915 TEL 03-6907-2537

E-mail wasedanogori@amethyst.broba.cc

関係各位

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
会 長 山 東 昭 子

ハマナス募金ご協力のお願い

日頃より、本協会に対しまして、深いご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会は、創立以来 86 年目を迎えます。聴覚障害者教育・福祉関係では、国内で最も歴史のある法人であり、これまでの事業の公益性の実績が認められ、平成 23 年 4 月内閣府より公益財団法人として認定されました。

これまで当協会は、国際協力を含め、様々な事業を展開してまいりました。近年は、「全国聾学校作文コンクール」、「全国聾学校絵画展」、「全国聾学校合奏コンクール」等の実施や「読字力検定試験」、FM 補聴システムの無償貸し出し事業、保護者指導書の刊行、保護者研修会・指導者講習会の開催、法律相談、聴覚障害者教育関係資料収集等を実施し、聴覚障害児・者の社会自立の支援や教育福祉の振興に努めておるところでございます。

また、「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は、今年第 40 回を迎えます。この会には第 30 回以降、毎年、秋篠宮妃殿下のご臨席を賜りますとともに、心温まる労いと励ましのお言葉をいただいております。

これら公益事業の実施や運営にかかわる資金は、すべて皆様方からの善意の寄附によって成り立っております。どうか聴覚障害児・者の教育・福祉の更なる充実・進展のためにお力添えを賜りますよう何卒よろしく御願申し上げます。

記

- 1 目標額 平成 29 年度目標額 1,500 万円 *平成 28 年度達成率 68.4%(3/14 現在)
- 2 募金額 ハマナス募金 1 口 10,000 円
*金額に関わらずご芳志をお寄せいただければ幸甚に存じます。
賛助会員会費 1 口 50,000 円以上(年額)
- 3 送金方法 ◎ゆうちょ銀行 (郵便振替) 加入者名 聴覚障害者教育福祉協会
口座番号 00110-9-134877
* 同封の郵便振替払込用紙をご利用ください。
◎みずほ銀行 江戸川橋支店 普通 1615748 (公財) 聴覚障害者教育福祉協会
- 4 その他 当協会の「寄付金受領証明書」により税法上の控除対象寄付金として優遇措置(税額控除)が受けられます。
* 本件についてのお問合せは、下記担当者あてにお願いいたします。

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5F

公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会 専務理事 櫻井 博
事務局長 上田 久三

TEL 03-6907-2537 FAX 03-6907-2915

E メール wasedanomori@amethyst.broba.cc

■個人情報の取扱いについて

- (1) お預かりしました個人情報は、公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会が厳重に管理し、審査および選考結果の通知の発送および発表、当協会のホームページや新聞・雑誌等での活動報告および紹介、当協会の事業および活動の改善を目的としたアンケートの送付、ならびに当協会が主催する今後の事業のご案内やお知らせ、挨拶状および発行物の送付などの目的で使用いたします。なお、お預かりしました個人情報は、法令等により開示を求められた場合を除き、業務委託先以外の第三者に開示または提供することはありません。
- (2) 本件の記録映像、記録写真および成果物は、当協会の活動の範囲内で、当協会のホームページや新聞・雑誌等での活動報告および紹介ならびに事業募集の告知物などに使用する場合があります。学校や個人を特定できる情報（写真や映像等を含む）については、該当する学校や個人に対して掲載内容を連絡のうえ、了承を得た範囲で掲載することとします。
- (3) 個人情報の取扱いに関するお問い合わせや、個人情報の照会、訂正もしくは削除のご要望または苦情の申出などにつきましては、下記のお問合せ窓口へご連絡ください。窓口担当者がご本人であることを確認させていただいたうえで、お問合せ等に関する手続きをご案内いたします。

お問合せ窓口：公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会事務局

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5F

TEL 03-6907-2537 FAX 03-6907-2915

Eメール wasedanomor i@amethyst. broba. cc

ホームページ <http://www13. plala. or. jp/wasedanomor i/>